

令和5年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会 事業報告

(1) 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に分類されたことにより、少しずつ人と人との関わりが戻ってきた年であったと思います。社協の目的は地域福祉の推進ですが、人と人とのつながりづくりも大変重要な要素であり、社協にとっては、プラスの側面が多い状況になったと考えられます。

また、令和5年7月7日からの大雨災害では福岡県内でも多くの地域で被害があり、社協も災害ボランティアセンター活動等を通じて多くの住民、関係者、関係機関と連携を図り、復興に向けた活動を展開されていきました。令和6年1月1日に発生した能登半島地震でも大きな被害が出ておりましたが、こういった被災地復興支援の中でも、人と人、社協間のつながりの重要性が改めて認識されたことと思われま

す。福岡県地域福祉活動職員連絡会（以下、地職連）では、地域福祉の推進、つながりづくりを使命とする社協ワーカーの育成に令和5年度も取り組んでまいりました。

研修事業「コミュニティワーカースキルアップダンジョン」では、普段あまり共有されることの無いワーカーレベルアップのための方法やアイテムを共有し、成長のきっかけとしてもらいました。「コミュニティワーカー育成者養成研修」では、そもそもコミュニティワーカーの役割とは何なのかということを改めて問い直し、その養成方法等について議論しました。「社会資源の開発～0から1へ地域格差は伸びしろ！～研修」では、社会問題に立ち向かっていく社協ワーカーとしての姿勢、発想の転換を行うことの重要性、様々な状況をプラスに持っていける柔軟性の大切さを学びました。「心をわしづかみ！相手に響く表現・説明力向上研修～聴き手に伝わるプレゼンテーション」では、住民へのアプローチ方法や考え方について改めて考えると共に何のための、誰のために我々はプレゼンを行うのかというそもそも論を再確認しました。「全体会議 社協の魅力伝え隊」では、社協の魅力ややりがいについてワーカー同士で議論を交わし、明日への活力、モチベーションの維持、向上が図れたのではないかと思います。また、役員研修として「ソーシャルワーカーの役割を改めて考える～パートナーリズムを切り口に～」を実施し、我々が考える支援のあり方が果たして適切なのかどうかを振り返り、住民主体の意味を改めて考えました。こういった取り組みのプロセスで社協ワーカー同士のつながりが育まれたことは言うまでもありません。

地職連は、社協職員が集い、学び、つながりをつくれる場です。相談ができる、情報がもらえる、愚痴が言える、議論ができる、時には言い合いができる仲間がいることの大切さを体感できる組織としての機能を、今後もより一層高めていきたいと思っています。地職連は、役員だけの組織ではなく、県内ワーカー一人ひとりが主体的に関わる組織です。今後も引き続き、皆様の主体的な関わりをお願いし、令和5年度の総括とさせていただきます。

(2) 具体的な事業内容

【研修事業】

「コミュニティワーカースキルアップダンジョン～あなたの可能性は LEVEL∞～」

ドラゴンクエストの主人公のように経験値を積んでレベルアップを図っていく社協ワーカー。今回の研修では、参加者それぞれが主人公（勇者）となり、目指すべきワーカー像に必要なスキルや経験、アイテム等について意見を出し合い、業務内外問わず自身の成長のために取り組んでいることについて共有を図りました。現時点での自分に足りていないことを考察しながら、仲間たちからの情報を得ることで、新たな視点や手段を獲得できたと同時に、仲間との絆も出来、総じて参加者のレベルアップにつながった研修会になったかと思えます。

▼日 時／令和5年5月26日（金）15時～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル2階Y-1会議室

▼参加者／社協職員52名

「ピアサポートの意味と組織（化）活動を考える～コミュニティワーカーの役割は？～」

※令和5年7月豪雨の影響により中止。

「コミュニティワーカー育成者養成研修会」

地域福祉の推進を行っていく次世代のワーカーたちへ、我々は何をどの様に伝える必要があるのか。今回はワーカーを育成する立場の県内外のワーカー3名にパネラーとして登壇いただき、コーディネーターの進行のもと、それぞれの経験に基づいて育成に関する考えや実践等のお話をいただきました。はじめに、「そもそも育成する立場にあるワーカーが、コミュニティワーカーとしての役割を果たしているのか」といった投げかけがありました。「潜在的な課題を持つ当事者と出会っているのか」、「社会を変えることができるのか」、「生きることを支えることができるのか」、「コミュニティワークが出来ていない人にコミュニティワーカーの育成など出来るわけがない」、といった問題提起を投げかけられ、まずは自分自身がどう動いていく必要があるのかという自己覚知を促されました。また、個人の特性を活かした育成、組織として一貫性を持った育成、感性の育成が出来ているのか等、沢山の課題（お土産）を頂いた研修会となりました。

▼日 時／令和5年8月25日（金）10時～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル5階V-2会議室

▼参加者／社協職員32名

▼パネラー 兵庫県 川西市社会福祉協議会 事務局次長 高田 浩行 氏

福岡県 うきは市社会福祉協議会 在宅福祉課長 國武 竜一 氏

兵庫県 洲本市社会福祉協議会 五色支部長・地域福祉係長 東 佑樹 氏

▼コーディネーター 福岡県立大学人間社会学部 教授 村山 浩一郎 氏

「社会資源の開発 ～0 から 1 へ 地域格差は伸びしろ！～」

近年、地域を取り巻く課題は、複雑化、複合化しています。その地域課題解決のために、既存の制度やサービスを活用するだけでなく、社協ワーカーには新しく社会資源を開発する働きも求められています。地域格差は当然ある中で、自分の地域の強みや弱みを把握分析し、発想の転換を図り、社会資源の開発に向けた取り組みを学ぶことを目的に開催しました。基調講演では、住民に寄り添った太良町社協のあり方や取り組みについてお話していただきました。個人ワーク、グループワークでは、「地域」を分析し、住民視点で見た地域の分析を深めることで、社会資源の開発や新たに取るべき社協の役割の創出について語り合う時間となりました。私たちは社協職員である前に、地域住民の一人です。時には、社協職員という鎧を脱ぎ、地域住民に戻ることで発想の転換が働き、新しい社会資源が生まれるかもしれません。そして、住民が望む地域を実現するためのツールとして、社協が活用されることが社協の本望だということを学んだ実りの多い研修会となりました。

▼日 時／令和6年1月26日（金）13時～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル5階V-2会議室

▼参加者／社協職員30名

▼講 師／佐賀県 太良町社会福祉協議会 総務係長 中村 秀貴 氏

「心をわしづかみ！相手に響く表現・説明力向上研修 ～聴き手に伝わるプレゼン～」

講演では、プレゼンテーションを行う前から参加者との距離を詰めることや、場の雰囲気づくり、自分のキャラクターに合わせた内容、相手の合わせた声・スピード・姿勢、雑学を入れて引きつけるなどを教示いただき、グループワークでは、事前課題を基にプレゼンテーションを実践しました。

地域福祉の推進を行うなかで、様々な場面でプレゼンテーションの機会がある社協ワーカー。今回の研修では、プレゼンテーションの手法等を学ぶとともに、なぜ住民の方に伝える必要があるのか、伝えることが目的になっていないか、などを考える研修会となりました。

▼日 時／令和6年3月5日（火）13時～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル5階V-1会議室

▼参加者／社協職員28名

▼講 師／motto ひょうご 事務局長 栗木 剛 氏

【役員研修】

「ソーシャルワーカーの役割を改めて考える～パターンリズムを切り口に～」

「寄り添う」というワードが多用されますが、そうした支援が支援者主役になっていないか。知らず知らずのうちに、あるいは構造的にパターンリズムの関係をつくるような支援になっていないか。そうした内省の意味も込めて本研修会を実施しました。

地域福祉の制度化が進み、人を支えるための手法や事業を学ぶ機会はたくさんあるのですが、今回のような基本的で支援の核となるような考えを学ぶ研修はとても貴重です。原点に返りながら、私たち自身のあるべき姿を考えていくことが大事だと感じた研修会でした。

▼日 時／令和6年3月19日（火）15時～17時

▼会 場／クローバープラザ5階視聴覚室

▼参加者／9名

▼助言者／NPO法人しょうがい生活支援の会すみか 代表理事 芹田 洋志 氏

【会議の開催】

■令和5年度全体会議の開催-----

「全体会議 社協の魅力を伝え隊！！～社協ワーカーのやりがいと働きやすさ～」

仕事の「やりがい」といった内面からくる仕事への意欲や誇り、また「働きやすさ」といったワーク・イン・ライフをはじめとする外的要因について事前に県内社協の職員対象にアンケートを実施し、そのアンケート結果を参考に全体会議では、5つのテーマ分けて議論しました。新たな人材の確保や、社協ワーカーとして「地域」をどう捉えているか、仕事と生活の両立や仕事に向き合う価値観、やりがいや働きやすさを高めるための心理的安全性について、一人の社協ワーカーとして、また、そこに暮らす一人の住民としての率直な意見を言い合える機会になりました。

▼日 時／令和5年11月27日（月）13時30分～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル2階T会議室

▼参加者／社協職員35名

▼事前アンケート／「社協の職場におけるやりがいと働きやすさについて」（有効回答数112件）

【広報事業】

■会報「まなこ」の発行-----

【発行月と発行月・内容】

No.94（令和5年10月）

- ・「役員研修会 the end of social work」、「CW スキルアップダンジョン」、「CW 育成者養成研修」研修報告、「特別寄稿 社会福祉協議会の使命」「各ブロックの活動が知りたい！」 等

No.95（令和6年4月）

- ・「全体会議 社協の魅力を伝え隊！！」、「社会資源の開発～0から1へ 地域格差は伸びしろ！～」、「心をわしづかみ！相手に響く表現・説明力向上研修」「役員研修会ソーシャルワーカーの役割を改めて考える」「特別寄稿」 等

■ホームページ・facebookの運営-----

ホームページ、facebook等を通じ、研修等の情報提供等を行いました。

■福岡県社協との連携-----

役員会や研修会に参加いただき、情報交換、共有等を行いました。

■役員会の開催、監査の実施-----

●役員会

	日にち	場所	参加者	内容
第1回	5月26日(火)	リファレンス駅東ビル	10名	R5総会、事業計画、予算他
第2回	9月1日(金)	志免町総合福祉施設シーメイト	11名	R5研修、まなこ他
第3回	11月27日(月)	リファレンス駅東ビル	9名	R5研修、まなこ、社協基本要綱2025他
第4回	1月26日(金)	リファレンス駅東ビル	9名	R5研修、まなこ、社協基本要綱2025他
第5回	3月5日(火)	リファレンス駅東ビル	5名	R5研修、まなこ、R6総会他
第6回	3月19日(火)	クローバープラザ	6名	R6総会、事業報告、決算他 終了後、役員研修会
第7回	5月2日(木)	リファレンス駅東ビル	16名	R6総会、事業計画、予算他
第8回	5月31日(金)	リファレンス駅東ビル	15名	R6総会、事業計画、予算他

※参加者は地職連役員及び県社協担当者です。時期によって新旧役員、実習生等が参加しています。

●監査

日にち	場所	参加者
4月10日(水)	志免町総合福祉施設シーメイト	4名

※参加者は監査、会計、会長です。